立教大学 ESD 研究センター紹介

立教大学ESD 研究センター (ESDRC) は、ESD (Education for Sustainable Development、持続可能 な開発のための教育) が多様な社会活動の中で実質的に機能することを目標として、2007年3月に立教 大学に設立されました。また、2007年6月には、『「持続可能な開発のための教育 (ESD)」における実践 研究と教育企画の開発』として、平成19年度の文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業に選定され、多種多様な研究活動の展開が国内外から期待されています。

ESD研究は、環境・経済・社会のあらゆる領域をカバーする学際的研究ですが、従来の研究は、個々の領域での研究活動が主となることが多く、総合的な「教育の再方向付け」の提言、教育システムの開発と実践、指導者・教育者の人材養成、研究活動・実践活動のネットワーク形成までには至っていません。当研究センターは、「環境教育」と「開発教育」を切り口として、人文・社会科学的視点からこれらの課題にアプローチし、アジア・太平洋地域におけるネットワークをさらに強化し、この分野の「ハブ」機能を果たすことを目指しています。

研究および実践活動は、テーマ別に、アジアチーム、太平洋チーム、CSR チーム、統括チーム、の4つのチームで行い、定期的な研究会に加え、シンポジウムや講演会、ワークショップやセミナーなどの公開を企画運営しています。

活動の内容や研究および実践の成果はウェブサイトで随時更新しております。こちらもあわせてご覧ください。

ESD 研究センター CSR チーム研究員 *put執筆担当

阿部 治 立教大学 ESD 研究センターセンター長、社会学部教授、大学院異文化コミュニケーション研究科教授/

千葉大学客員教授/持続可能な開発のための教育の 10 年推進会議(ESD-J) 顧問/日本環境教育学会学会長

川嶋 直* 立教大学 ESD 研究センター CSR チーム主幹、大学院異文化コミュニケーション研究科元特任教授 /

(財) キープ協会環境教育事業部シニアアドバイザー

岡本享二 ブレーメンコンサルティング(株)代表取締役/首都大学東京大学院ビジネススクール客員教授/東北大学

大学院環境科学研究科特別講師

新谷大輔 (株)三井物産戦略研究所研究員/立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科非常勤講師

中西紹一 プラス・サーキュレーションジャパン代表取締役/立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科元非常勤講師

中野民夫* (株) 博報堂/ワークショップ企画プロデューサー/立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科非常勤講師

福田秀人 サステナブル・リサーチ代表/事業戦略アドバイザー/立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科非常勤講師

(2012年2月現在)

本指針の作成にあたり、セミナーやワークショップにご参加いただいた多くの皆さまからのご協力を得ることができました。また、特に次の方々には、分科会でのご助言を賜るなど、多大なご尽力をいただきました。

琴浦譲氏、相模博氏、田井中愼氏、田中丈夫氏、林克彦氏、藤木勇光氏、森本高司氏

(特活) 持続可能な開発のための教育の 10 年推進会議 (ESD-J)

現在、次の方々と協力し、本指針に基づいた人材育成プログラムの開発を進めています。

青木将幸氏、上條直美氏、佐野淳也氏、西村勇也氏、吉澤卓氏

謹みまして、皆さまに深く感謝申し上げます。

■お問合せ先

立教大学ESD研究センター 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-34-1

E-mail esdrc@grp.rikkyo.ne.jp

Tell 03-3895-2686

URL http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD/

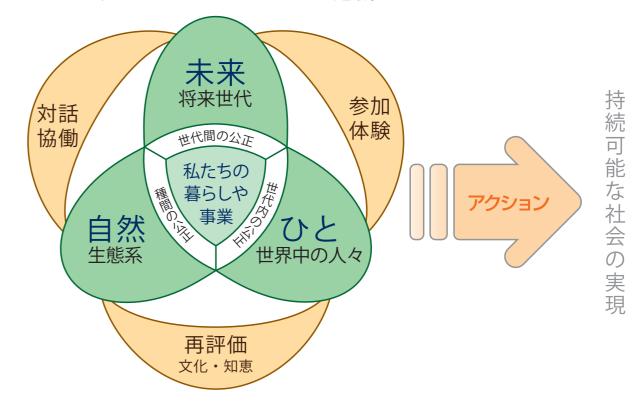




次世代 CSR におけるサステナビリティ教育指針

持続可能な社会の実現をめざす企業と企業人のための ESD(持続可能な開発のための教育)ガイドライン

3つの公正×3つのアプローチ = 危機をチャンスに!



~感性と直観を重視した次世代CSRをめざして~

グローバル化が進み、また、あらゆるものごとが複雑に関係しあった世界に 生きる私たちは、私たちの暮らしや企業活動が、自然環境や世界の人々、そして 未来にも大きな影響を与えていることを深く自覚します。

持続可能な社会の実現に向けて、人や組織を活かしながら、社会はもとより 自然界も健全に保たれるようなビジネスを追求します。 私たちの暮らしや企業活動が、世界の課題とつながっていることに気づき、 そこから新たな発想を生むために、論理的思考だけでなく、社会的課題への 「感性」と「直観」を大切にします。

サステナビリティに真正面から取り組む次世代CSRとして、 ESD(持続可能な開発のための教育)を活用した企業人教育に取り組みます。